

東海新報

令和5年(2023年) 9月27日 水曜日

医療法人 菊田 外科・泌尿器科
きくた 大船渡市大船渡町字明神前11-1 TEL 0192-26-4075

サポート付き在宅ワーク実験2年目

働き手200人確保目指す

東京の一般社団法人が実施 陸前高田など全国10地域で



一般社団法人ソーシャルビジネス・ネットワーク(東京都、町野弘明代表理事)は本年度、陸前高田市を含む全国10地域で、サポートを受けながら在宅ワークに取り組み、「ユニバーサル・クラウドソーシング・サービス」事業の実証実験を展開している。昨年度始まり、2年目の取り組み。初年度の成果を踏まえ、本年度は在宅ワーカーに業務を発注する企業の掘り起こしに乗り出し、ワーカーは計200人の確保を目指す。同法人は来年度からの本格運用を目標に掲げており、企業と多様な理由で働きづらさを抱える人双方にメリットがある仕組みとしての浸透に期待が集まる。(高橋 信)

実施地域を昨年度より2倍の10地域(陸前高田市、北海道札幌市、神奈川県横浜市など)に拡大。陸前高田市では、同市の一般社団法人スナフキン・アンサンブル(石井優太代表理事)が、実験運営側と地元在宅ワーカーを結ぶサポート組織を担っている。



実証実験2年目を迎え、取り組みの深化に向けて意見交換する関係者—矢作町

今年25日は、実験の事務局や東北経済産業局職員ら8人が、スナフキン・アンサンブルが運営する矢作町の市ユニバーサル就労支援センターに集まり、昨年度の成果や本年度の計画を確認。昨年度体験した在宅ワーカー3人とオンラインで結び、意見交換も行った。在宅ワーカーは、サポート実況の文字起こしやレシ

ット内容のデータ入力など手掛けた業務を報告。いずれも「本年度も継続してやりたい」と意欲を示した。ソーシャルビジネス・ネットワークによると、昨年度体験したワーカーは全国5地域で98人。ワーカー向けのアンケート(29人回答)では、やりがいや達成感について「非常に感じた」と「やや感じた」と答えた人の割合は86.2%だった。

昨年度はキャリアアラムを通じ、同社の顧客企業から業務の提供を受けたが、本年度は実験地域などでの企業開拓に力を入れ、業務発注5社確保を目指す。ワーカーの増員にも取り組む。企業側にとっては、繁忙期の業務負担軽減やコスト削減などのメリットが見込まれる。一方で、障害やさまざまな理由から対面で働きづらい人や、育児、介護のため働くことをあきらめた人にとっては、就労支援

■実証実験のイメージ



クラウドソーシングは、インターネットを通じて企業が仕事を発注(アウトソーシング)し、不特定多数の個人が受ける仕組み。実験は、全国約200社のソーシャルビジネス事業者のネットワーク組織である同法人が、経産省の「地

域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業補助金」の採択を受けて実施。全国11万人の在宅ワーク会員を持つ(株)キャリア・アラム(東京都、堤香苗代表取締役)が提携企業として連携している。

本年度は6月に始動し、興交流推進センターで当初計画よりも利用料金収入が大きく下回った実績などを反対の理由に挙げた。委員会は採決と同様、一般会計は賛成多数、その他は全員賛成で認定・可決された。

令和元年度の3億円を皮切りとして、翌年度以降は1億円ずつ積み増し、11年度に13億円とする方針。5年度も当初計上していた5000万円と合わせ、計画通り進める。庁舎整備に関する検討は未着手となっている。

また、議員発議案「ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」(提出者・東野市議員)は、賛成多数で可決。起立採決の際、賛否が拮抗した

4年度決算認定し閉会

大船渡市議会 9月定例会 本年度補正予算も可決

大船渡市議会9月定例会は26日に最終本会議が開かれ、令和4年度一般会計や各種特別会計決算を認定したほか、本年度一般会計補正予算をはじめ当局提案議案11件を可決し、閉会した。一般会計は、前年度繰越金の確定による財政調整基金

4年度決算のうち、一般会計の歳入は249億2122万円(同3.2%増、執行率97.7%)、歳出は242億1896万円(同4.4%増、同94.9%)。実質単年度収支は、4億4300万円の赤字となった。

本年度一般会計補正予算の主な歳出は、財政調整基金

令和元年度の3億円を皮切りとして、翌年度以降は1億円ずつ積み増し、11年度に13億円とする方針。5年度も当初計上していた5000万円と合わせ、計画通り進める。庁舎整備に関する検討は未着手となっている。

また、議員発議案「ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」(提出者・東野市議員)は、賛成多数で可決。起立採決の際、賛否が拮抗した

令和元年度の3億円を皮切りとして、翌年度以降は1億円ずつ積み増し、11年度に13億円とする方針。5年度も当初計上していた5000万円と合わせ、計画通り進める。庁舎整備に関する検討は未着手となっている。

令和元年度の3億円を皮切りとして、翌年度以降は1億円ずつ積み増し、11年度に13億円とする方針。5年度も当初計上していた5000万円と合わせ、計画通り進める。庁舎整備に関する検討は未着手となっている。

気仙3市町は「始期」に

20日現在の稲刈り進捗率は22%

気仙3市町(気仙市、大船渡市、陸前高田市)の稲刈り進捗率は、20日現在、大船渡市が43%、陸前高田市が11%、住田町が44%となり、いずれも昨年より早く「始期(刈り取り進捗率10%)」に入った。県全体は22%となっている。

県大船渡農業改良普及センターの概況速報によると、本年度の始期は、大船渡市が16日(平年比5日遅)、陸前高田市が20日(同4日遅)、住田町が17日(同4日遅)。

令和元年度の3億円を皮切りとして、翌年度以降は1億円ずつ積み増し、11年度に13億円とする方針。5年度も当初計上していた5000万円と合わせ、計画通り進める。庁舎整備に関する検討は未着手となっている。

また、議員発議案「ゆたかな学びの実現・教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」(提出者・東野市議員)は、賛成多数で可決。起立採決の際、賛否が拮抗した

令和元年度の3億円を皮切りとして、翌年度以降は1億円ずつ積み増し、11年度に13億円とする方針。5年度も当初計上していた5000万円と合わせ、計画通り進める。庁舎整備に関する検討は未着手となっている。

きょうの天気
一時雨
最高 24℃ 最低 19℃
あすの天気
時々雨

海上(波の高さ)
きょう 1m
あす 1mのち2m

あすの暦
9月28日(旧8月14日先負)
日出 5:25 満潮 1:49
日入 17:22 潮 15:18
月出 16:57 干潮 8:40
月入 3:27 潮 20:54
月齢 13.1 大潮(大船渡湾)

	死者数	行方不明者数
大船渡市	340	79(76)
陸前高田市	1,557	202(200)

東復興防災部防災課発表、2023年8月31日現在。死者数は県警調査、行方不明者数(カッコ内は行方不明者)

世迷言

植物学者・牧野富太郎が残した植物標本(の大半は押し葉標本)であり、採集地などのラベルが「完全標本」からはほど遠いものであったという。彼は植物を新聞紙に挟んで押し葉にするところまではしても、その植物の同定(国内外の文献や過去の標本にあたり、採集地などを特定する作業)はしていなかったらしい。未整理標本の数はなんと、約40万枚にも上る。完全標本に